

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活支援技術Ⅶ Independent Living Skills Ⅶ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
新井文子	福祉棟2階	初回授業にて説明する。		授業中に指示します
授業の概要				
精神障害および知的障害の原因疾患や特性、個々の生活障害を理解し、その介護・援助の視点と留意点について学ぶ。また、保健・医療と福祉関係者との連携のあり方についても学ぶ。そして、メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康について考える機会とする。				
授業の目標				
①精神障害および知的障害の特性がわかり、介護・援助の視点を説明できるようにする。 ②メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康を保つ工夫を考えることができるようにする。				
授業の方法				
演習科目であるが、講義が中心となる形式である。				
学習の成果（学習成果）				
①精神障害および知的障害の障害特性から、介護に必要な視点を説明することができる。 ②自己の心の健康について考える機会とすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって） 既習学習「障害の理解Ⅰ・Ⅱ」の復習			
第2回目	精神疾患の基礎知識① 統合失調症			
第3回目	精神疾患の基礎知識② 気分障害（躁うつ病を中心に）			
第4回目	精神疾患の基礎知識② 薬物依存症（アルコール依存症を中心に）			
第5回目	精神障害者の特徴と介護・援助の視点① 統合失調症を中心に			
第6回目	精神障害者の特徴と介護・援助の視点② 気分障害を中心に			

第7回目	精神障害者の地域生活、医療の現状、 地域生活に必要な条件精神障害者の地域生活を支える支援と制度、保健・医療・福祉関係者との連携	
第8回目	精神障害者の理解 精神障害者施設関係者の講話（両毛病院 職員）（レポート1 提出：第9回目）	
第9回目	「メンタルヘルス」レポート 課題提示(提出：第13回目) 知的障害の概念とその理解および捉え方、ノーマライゼーションの概念	
第10回目	知的障害の原因と特徴	
第11回目	知的障害児（乳幼児期・児童期）の特徴と介護・援助の視点	
第12回目	知的障害者（成人期・高齢期）の特徴と介護・援助の視点	
第13回目	地域生活と社会参加 必要な条件と支え	
第14回目	障害を持つ人の加齢と生活障害、まとめ	
第15回目	知的障害者の理解 事例紹介または視聴覚教材	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合 評価の基準
	授業参加態度	20% 配布資料をもとに自主的にメモしている。提示した資料やテキストは必ず持参している。
	レポート	30% 1：講話後のレポート S：感想文にとどまらず学びを明確に記述している。（10%） 2：メンタルヘルスのレポート S：社会人となってからどのように向き合うかを考え、具体的に記述している。（20%）
	調査報告書	
	小テスト	
	試験	50% 第16回目に実施。介護福祉士国家試験（筆記試験）に準じた選択形式の筆記試験である。
	発表内容（態度含む）	
	その他	
教科書と参考図書		
教科書 新・介護福祉士選書8 第3版 「生活支援技術Ⅲ」 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
心の健康について、ライフサイクルを通して考えていく機会としてほしい。講話については日程や関係者等を変更する場合がある。		